



2016-2017 年度 第 1726 回例会 宇都宮南ロータリークラブ会報

会長：安齋誠一 幹事：関口 隆 広報委員会リーダー：酒澤伸二

例会場及び例会日：ホテルニューイタヤ <水曜 12:30>

事務所：宇都宮市大通り 2-4-6 ホテルニューイタヤ内

TEL:028-635-5511 (ホテルニューイタヤ)

5 月 第 4 例会

2017 年 5 月 31 日(水)



会員数 52 名 出席 27 名

司 会

物井 栄三郎 S. A. A

- ロータリーソング「四つのテスト」

会長挨拶

安齋 誠一 会長

皆さんこんにちは。

5 月末日の例会となり、会員自社 PR が今年度最後になります。太城ガバナーエレクトが「相互愛」として、会員同士お互いに利益を持ちあおうというお話をされていました。私も原点にはこの相互愛があり、会員の会社がどういった事業をしているかを理解し合わなければならないと思い、昨年の 8 月より自社 PR をしていただく事となりました。本日 4 名の会員の皆様に PR をお願い致しますので、皆様助け合って参りましょう。

幹事報告

関口 隆 幹事

§ 6 月のロータリーレート 1 ドル=110 円

§ 本日、18:30 より新・旧委員長交代会議を開催致します。(2 階イタヤ飯店に会議場変更)

§ 例会終了後、規約改正委員会を開催致します。

スマイル BOX 委員会報告

長谷川 博夫 委員

§ 安齋誠一会長 本年度最後の会員自社 PR となります。どんどん PR してください。

§ 坂本昭一副会長 会員の卓話、本年度最後になりました。よろしくお願い致します。

§ 村上芳弘会員 今日の卓話、よろしくお願い致します。昨日、誕生日を迎える事ができました。気持ちは 55 歳です。

§ 塩田 潔会員 先週は欠席して申し訳ありませんでした。甲子園野球、お疲れ様でした。試合は残念でしたがたまには負けるのもいいでしょう。又、新たな気持ちでナイターリーグ、地区大会、頑張ってください。

§ 小塚照夫会員 今日の卓話、ご静聴ください。

§ 田中正夫会員 暑いです。

§ 藤島 拓会員 本日 18:30 からの、新・旧委員長会議での引き継ぎ等、よろしくお願い致します。

§ 小保方明美会員 昨日、夫の月命日でした。早いもので 7 カ月になります。あの節は大変お世話になりました。

§ 長谷川博夫会員 先日の日曜日は、初のやっとの思いで男体山に登ってきました。

多くの会員の皆様にご協力戴きありがとうございました 今週の金額 9,000 円

スマイルボックス目標 100 万円 現在合計額 970,000 円



会員自社 PR

小塚 照夫 会員 小塚歯科医院 院長

宇都宮市桜で歯科医院を開業して約 39 年になります。

私の一番の自慢は健康であるということ、開業以来 1 日も休んだことがなく、生まれてこのかた入院をしたこともありません。

私の親族で 10 件開業医がおります。それは、父母がそれぞれ 8 人兄弟で従妹が 58 人おります。それに配偶者を含めると 100 人を超える訳です。現在は 2 世代 3 世代となり点在しております。祖母は無形の相続として、孫に教育費をかけることを行いました。私は、昭和 27 年付属幼稚園に入園し、昭和 40 年岩手医科大学歯科学部に入学しました。北の片田舎だと思っておりましたが、全国からの学生で驚きました。昭和 52 年に宇都宮に戻り開業しました。まもなく当南クラブの大塚 禎初代会長のもとで歯科医師会の理事を任せられ、東京全国歯科医師健康保険組合で約 10 万人の保険の出入りを扱う仕事に週 1 日通う事を 10 年間行い、現在は県立衛生福祉大学に於いて看護学校の講師をしています。

私の家族は、妻と 3 人の子供がおり孫が 5 人います。長男はハーバード大学卒業後歯科医となりました。次男は鉄鋼会社に勤務し、長女は東京で主婦をしています。



塩田 潔 会員

(株)シオダ建築デザイン事務所 代表取締役会長
NPO 法人大谷石研究会 副理事長

大谷石は、宇都宮市大谷地域に分布する軽石質の凝灰角礫岩を主体とする火山碎屑岩の総称である。新生代新第三期中新世、今から約 1500 万年前に火山から噴出した火山灰や軽石・岩片などが海底に堆積して出来たもので、緑色を呈することから緑色凝灰岩とも呼ばれている。軟らかく加工しやすい石材であるところから利用の歴史は古く、縄文時代には竪穴式住居の炉石として、古墳時代には横穴式石室の構築材として、また奈良時代には下野国分寺の基壇等に用いられた。

大谷石の生産利用が本格化するのは江戸時代になってからである。本多正純は、宇都宮城主在任期間中(1619~22)宇都宮城普請で大谷石を切出し利用したといわれる。江戸時代の大谷石切は、農間渡世として行われ、享保 5 年(1720)には、下荒針だけで 49 名が石切に従事した。この頃になると、大谷石の利用は石垣、墓石、石塔等と多様化するが、特に石蔵が目立つ。石蔵は当初板状の石を貼った貼石構造で、屋根も石瓦で葺く場合が多い。

明治期以降、交通機関の発達により大谷石の輸送が飛躍的に増大し、生産・利用も盛んになった。



石蔵は貼石構造から積石構造へ変化し、また、鉄道の発達に伴い駅構内のホームや橋梁に利用された。大正12年（1923）の関東大震災の際に、大谷石造の旧帝国ホテルが焼け残ったことから大谷石は耐震・耐火性があると喧伝され利用に拍車がかかった。第二次世界大戦後、経済成長に伴い宅地造成、工業団地造成が盛んになると、大谷石が土止め用の石垣や石塀などに大量利用され、昭和30年代には年間80万トンもの生産量を超え大谷石生産の最盛期を迎えた。

現在、大谷石生産は激減し、従来のような土木・建築材ばかりでなく室内装飾用、あるいはコースター、キャンドルランプ等新たな利用がなされ、また採掘跡地の一部は資料館や酒やハムなどの食糧貯蔵庫などにも利用されている。

「石のまち宇都宮」を誇れるよう、皆様に注目していただき誇りに思っていたきたい。

<http://www.ne.jp/asahi/shiodarch/design/> シオダ建築デザイン事務所

<http://www.ooyaishi.org/> 大谷石研究会

村上 芳弘 会員 日東石油 株式会社 代表取締役



3月11日の東日本大震災の教訓を活かし 当社も企業努力として 当社直営のガソリンスタンドも災害対応型中核給油所として 経済産業省及び元売から認定を受け、地域に安全・安心 をお届けする為にこれからも努力してまいります。

1. 緊急用発電機の設置
2. 地下タンクの増設
3. 配送ローリーの増車に取り組み、更に災害対応能力強化に取り組みます。

ちなみにローリーは新車3台増車しております

* その他税制についてのお話がありました。

<http://www.nittooil.jp/stand/>



出席報告

枝野 修一 委員長

会員数 52 名 出席数 27 名 欠席数 25 名 出席率 58.70%
前々回 5月17日 訂正率 80.85%



次回例会

2017年6月7日(水) 委員会活動実績報告